

(2004. 11. 1 制定)
(2010. 10. 29 改訂)
(2013. 01. 18 改訂)
(2014. 03. 18 改訂)
(2014. 08. 01 改訂)
(2018. 04. 23 改訂)
(2019. 03. 29 改訂)

性能評価用提出図書（別添）作成要領

<防火材料>

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）です。
当法人打合せ担当者との打合せの中で試験体仕様の選定を行いますが、その際の資料として、申請される材料を漏れなく記載願います。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA 4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）

性能評価用提出図書の書き方（例）

（別添）

↓この部分の数字は全角で

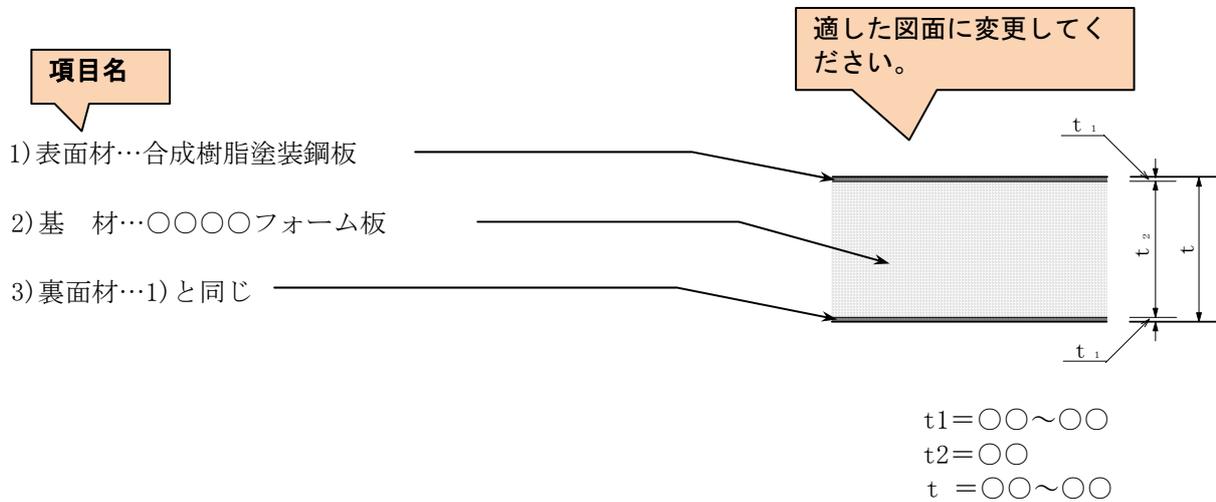
1. 材料名

○○○○フォーム板充てん／○○樹脂系フィルム張鋼板

打合せ担当者との打合せに基づいて材料名を記入してください。
わからない場合は一般名称でも構いませんが、商品名は記入しないでください。

4. 構造説明図（寸法単位：mm）

- 1) 本申請の材料構成について断面図で説明して下さい。
- 2) 図面中の材料名は「6. 材料構成」中の「項目」名と整合させてください
- 3) 「6. 材料構成」で記載されている各材料がどのような方法で使用されているかについてわかりやすく図示してください。
- 4) 申請材料にバリエーションがある場合には、それぞれの図面を添付してください。



5. 注意事項

当法人で記載致します。

(2010. 7. 7 改訂)
(2010. 10. 29 改訂)
(2012. 11. 26 改訂)
(2014. 08. 01 改訂)
(2018. 04. 23 改訂)
(2019. 03. 28 改訂)

性能評価用提出図書（別紙） 作成のお願い

<防火材料>

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）の試験体の選定理由部分です。
評価作業を効率よく実施するため、性能評価用提出図書（別紙）作成をお願いしています。当法人打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは9.0ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）
- 5) 大臣認定に係る性能評価は、申請材料の仕様に対する評価であるため、「商品名」は記載しないでください。
- 6) 赤色で囲っている部分は、試験体の材料仕様を示す部分です。
実際の試験体で用いた材料および試験体図面と一致させてください。
- 7) 青色で囲っている部分は、各材料のバリエーション、数値の公差、範囲等の申請範囲を示す部分です。各材料にバリエーションのある場合は、あらかじめ全てのバリエーションを評価図書に明記して下さい。また、各構造の中でJIS製品、大臣認定品等を使用する場合は、その番号も明記して下さい。
- 8) 緑色で囲っている部分は、仕様（青色部分）に対して、試験体の材料（赤色部分）が防火上不利なものとして選定されている理由を示す部分です。書き方につきましては、当法人打合せ担当者にご相談ください。

6. 評価方法
6-1 試験体の選定
1) 形状及び寸法等

設置されているテキストボックス内に
内容を記載してください。

”平滑・粗面・エンボス”等の中から、選択して
記載して下さい(複数可)。

項目	試験体の材料	仕	試験体の選定理由
形状	平板	平板	仕様と同じ
表面形状	エンボス (最大深さ〇〇mm)	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 平滑 (2) エンボス (最大深さ〇〇mm)	表面積が大きく防火上不利となる(2)の最大深さ
厚さ(mm)	〇〇	〇〇 _{±〇} ~〇〇 _{±〇}	表裏面材を防火上不利となる最小、基材を仕様と同じとしたときの厚さ
質量(kg/m ²)	〇〇	〇〇 _{±〇} ~〇〇 _{±〇}	有機質量を最大とした時の質量

試験体の材料を記載してください。
数値は全て確定値で記載して下さい
(以上、以下、±、~等は不要)。

公称値_{±公差}(製品許容差)で明記し
て下さい。

この欄は打合せ担当者
との事前打合せ内容に
基づいて記入してくだ
さい。

試験体の材料を記載してください。
数値は全て確定値で記載して下さい
(以上、以下、±、～等は不要)。

設置されているテキストボックス内
に内容を記載して下さい。

打合せ担当者との
事前打合せ内容に
基づいて記入して
下さい。

2) 材料構成

項目	試験体の材料	仕様	試験体の選定理由								
表面材	<p>○○樹脂系フィルム鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○mm ・質量 ○○kg/m² (有機質量○○kg/m²) <p>「以上、以下、±、～」等を除いた防火上不利となる限定された数値</p> <p>・構成</p> <p>[1] 表面化粧：</p> <p>○○樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○mm ・質量 ○○g/m²(固形量) (有機質量○○g/m²) <p>・組成(質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○ 有機質系添加剤(○○等) …○○ ○○○……………○○ <hr/> <p>[2] ○○○鋼板(JIS ○ ○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○mm ・質量 ○○kg/m² <p>(1)～(3)のうち、防火上不利となる限定された材料</p> <p>[3] 裏面塗装：</p> <p>○○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 ○○g/m²(固形量) (有機質量○○g/m²) <p>・組成(質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○ 有機質系充てん材(○○等) …○○ ○○○……………○○ <p>～を除いた防火上不利となる限定された数値</p> <p>以下には「なし」を含みません。「なし」の仕様がある場合は左記の様に、仕様に「なし」を記載して下さい。</p>	<p>○○樹脂系フィルム張鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○±mm～○○±mm ・質量 ○○±kg/m²～○○±kg/m² (有機質量○○±kg/m²以下) <p>・構成</p> <p>[1] 表面化粧：</p> <p>○○樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○±mm以下 ・質量 ○○±g/m²(固形量)以下 (有機質量○○±g/m²以下) <p>・組成(質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○± 有機質系添加剤(○○等) …○○± ○○○……………○○± <p>組成は「固形時」の組成を表記してください</p> <hr/> <p>[2] ○○○鋼板(JIS ○ ○○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ ○○±mm～○○±mm <p>申請仕様が複数存在する場合は、「(*)～(*)のうち、いずれか一仕様とする」と表記して下さい。2種類の場合には、「(1)、(2)のうち、いずれか・・・」と表記して下さい。</p> <p>[3] 裏面塗装：</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ○○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 ○○±g/m²(固形量)以下 (有機質量○○±g/m²以下) <p>樹脂の質量は固形量で記載して下さい。</p> <p>・組成(質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○±～○○± 有機質系充てん材(○○等) …○○±～○○± ○○○……………○○±～○○± <p>(2) ○○○系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 ○○±g/m²(固形量)以下 (有機質量○○±g/m²以下) <p>・組成(質量%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○○○樹脂……………○○±～○○± 無機質系顔料(○○等) …○○±～○○± ○○○……………○○±～○○± <p>(3) なし</p>	<p>試験体の選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火上不利となる最小 ・防火上不利となる表裏面化粧を最大、鋼板を最小とした(有機質量は最大) 2項目以上同じ選定理由の場合、項目名(厚さ、質量等)を列記して下さい。 ・有機質量が多く防火上不利となる最大 ・仕様と同じ 行の高さを合わせて下さい。 ・防火上不利となる最小 発熱量*が多く防火上不利となる(1) ・有機質量が多く防火上不利となる最大 ・有機質量が多く防火上不利となる組成 <p>※各樹脂の単位質量あたりの発熱量[MJ/kg]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂</th> <th>発熱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエステル</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>エポキシ</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>フッ素</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典： 欧州鋼構造協会連合協議会第3分科会、鋼構造の火災安全に関するヨーロッパ 規 準 - テクニカル</p>	樹脂	発熱量	ポリエステル	30	エポキシ	34	フッ素	4.2
	樹脂	発熱量									
	ポリエステル	30									
エポキシ	34										
フッ素	4.2										

項目	試験体の材料	仕様	試験体の選定理由
基材	○○○○フォーム板 (JIS ○ ○○) ・厚さ ○○mm ・質量 ○○kg/m ² (有機質量○○kg/m ²) ・比重 ○○ ・組成 (質量%) { ○○○……………○○ ○○○……………○○ ○○○……………○○ 発泡剤 (○○) …○○ (外割)	○○○○フォーム板 (JIS ○ ○○) ・厚さ ○○±○mm ・質量 ○○±○kg/m ² (有機質量○○±○kg/m ²) ・比重 ○○±○ ・組成 (質量%) { ○○○……………○○±○ ○○○……………○○±○ ○○○……………○○±○ 発泡剤 (○○) …○○±○ (外割)	・仕様と同じ 選定理由がすべて同じ場合、項目名(厚さ、質量等)の記載は不要です。
裏面材	表面材と同じ	表面材と同じ	仕様と同じ

規格 (JIS、JAS等) は、材料名の後ろに括弧書きで明記してください

選定理由がすべて同じ場合、項目名(厚さ、質量等)の記載は不要です。

・組成をカッコ{ で括り記載して下さい。
 ・発泡剤で残存しないものは、外割で明記してください

6-2 試験の方法

試験は、6-1に示した試験体について、方法書「4.10 不燃性能試験方法」有害性試験を実施した。

該当する条文を選択して下さい。
 不明な場合には、打合せ担当者にご相談ください。

6-3 試験の結果

[発熱性試験]

- (1)加熱開始後20分間の総発熱量が、8MJ/m²以下であった。
- (2)加熱開始後20分間、防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がなかった。
- (3)加熱開始後20分間、最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m²を超えなかった。

[ガス有害性試験]

次の式によって求めたX_sの値が、6.8分以上であった。

$$X_s = \bar{X} - \sigma$$

上式において、 \bar{X} 及び σ は、それぞれ次の数値を表すものとする。

\bar{X} : 8匹のマウスの行動停止までの時間(マウスが行動を停止するに至らなかった場合は、15分とする)の平均値(単位:分)

σ : 8匹のマウスの行動停止までの時間(マウスが行動を停止するに至らなかった場合は、15分とする)の標準偏差(単位:分)

6-4. 評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

担当者の連絡先ではなく、申請者の連絡先を記載して下さい。

7. 申請者連絡先

会社名: ○○○○株式会社
 所在地: ○○府○○市○○町0丁目0番0号
 電話: 00-0000-0000